

## 今回の交通事故をふまえ再発防止の取り組みは

市長／綱紀肅正の徹底を図る



田中次廣 議員

### 職員の綱紀肅正について

**議員** 今回の酒気帯び運転による交通事故をふまえ、再発防止の取り組みは。

**市長** 全職員に対し、厳しく訓示を行った。二度と起こらないよう、機会を捉えて綱紀肅正の徹底を図っていく。

**議員** 管理監督者である職員（総務部長、総務課長）については、処分を行ったとのことだが、市長自らはどのように対処されるのか。

### 南島原市創生特別枠・地方版総合戦略について

**市長** 今議会中にしかるべき責任の取り方を考えている。（議会最終日に、市長の給与を10%1カ月分減給する条例改正が可決された）

**議員** 創生特別枠として37事業、事業費として14億2千万円の予算が計上してあるが、この中で特に重点的に取り組む事業は。

**市長** 基幹産業である農水産業、製麺業の所得向上につながる事業、人口流出を食い止める事業、交流人口拡大による地域活性化につながる事業などを計上している。

**議員** 総合戦略について国は先駆性で実行性のある自治体に交付金で後押しすることだが、南島原市で実施するとしたら、どのような事業が想定されるか。

**企画振興部長** 先駆性については、職員で知恵を出して考えているが、国

から認められない部分がある。29年度からは、採択基準が厳格になり、所得の向上に合致しない事業などは採択されない部分もあった。

### 学校における、いじめについて

**議員** 市内の学校で何件のいじめがあっているのか。

**教育長** いじめに関する調査は、各小・中学校で2回から3回実施している。27年度は小学校で6件、中学校で9件で、全て解決済みである。28年度は小学校で4件、中学校で3件で、全て解決済みだが、継続して観察している。

**議員** いじめの根絶に、更に努めて欲しい。またいじめや子供の悩みなど確認できたら子供に寄りそい、子供の視点にたった対応を願いたい。



## 幹線道路網の整備は本市にとって喫緊の課題

市長／しっかりと取組んでまいりたい



柴田恭成 議員

### 幹線道路網の整備・促進について

**議員** 県・国等への要望活動、取り組み状況について伺う。

**市長** 期成会を通じて、県や国、県選出の国会議員に、幹線道路網の整備促進、道路財源の確保などの要望をしている。

**議員** 本市は、半島三市の中で、交通の便が一番悪い状況であり、特に小浜・愛野間は国道57号が災害等で遮断された場合迂回路もないような状況。小浜・愛野バイパス整備は喫緊の課題。市民や雲

仙市と一体となって県等へ強く要望すべき。

**市長** 愛野・小浜間での主となる幹線道路は国道57号線のみで、土砂災害等による交通の遮断があった場合、市民の大きな不安材料となっており、本市にとって大変重要な道路だと認識しており、雲仙市はもとより両市の議会、市民の皆さん、各種団体とも連携をとって引き続き、実現に向けて取り組んでまいりたい。

**副市長** 雲仙市と署名をどうやっていくか、具体的な話をしながら進めているところである。

**議員** 愛野・小浜バイパスは、多額になる事業費の問題など課題もあり、計画が進んだ場合、事業費は本市も幾らか負担することも必要だと思うが、南島原市のありようというものも、しっかりと考えていかねばならないと思っている。

### 有馬川の可動堰について

**議員** 可動堰の修理等については県に強く要望す

べきだと言っていたが、その後の進捗状況は。

**市長** 県との協議が進展し、調査経費の予算化を検討していただいている。

**議員** 有馬川には土砂等が堆積し、また可動堰が埋まる可能性があると思う。現状を見て、どのように思われたか。

**建設部長** 川竹については、当然県がするべきだが、伐採はしたいと思っている。

**議員** いつごろから伐採するのか。

**建設部長** 天気が落ち着いたら、早急にやりたいと思っている。

※この他、入札に於ける不落についても質問した。



有馬川（伐採後）